

部局名 工学部土木環境工学プログラム

担当: 准教授 嶋本 寛

テーマ 交通工学とデータサイエンスの融合による地域の交通問題解決に向けた研究開発

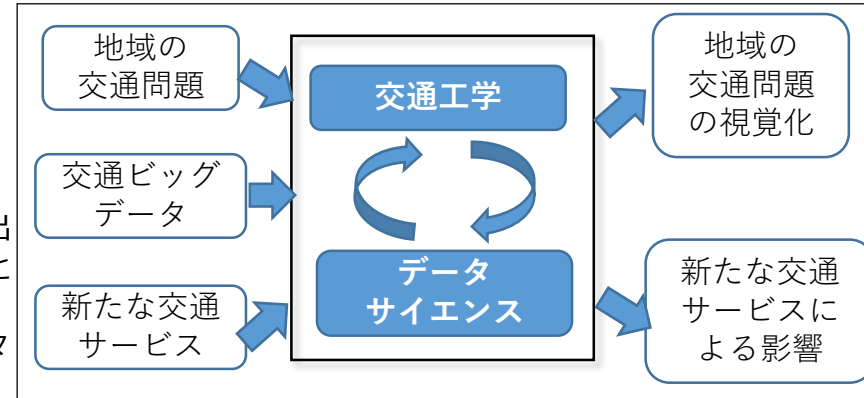
取組の様子

近い将来実用化されることが期待されている自動運転，シェアリング技術など新たな交通サービスの普及も念頭におき，以下のテーマを中心として地域の交通問題を解決するための研究開発を行っている。

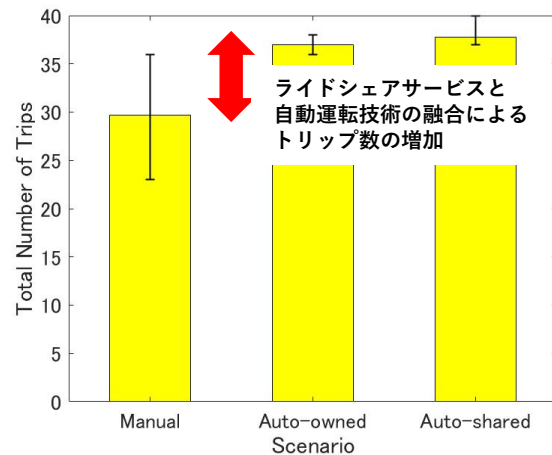
- ・ 持続可能な交通サービス評価に関する研究
- ・ ビッグデータを活用した交通計画に関する研究
- ・ 逆解析手法を用いた交通施策評価に関する研究

期待できる成果

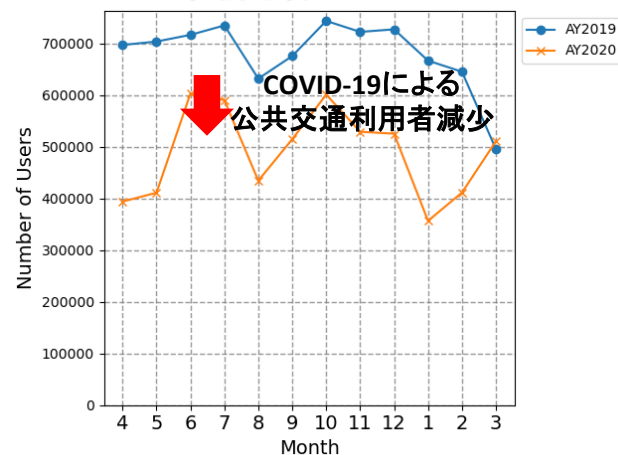
都市部における渋滞問題や，公共交通のサービスレベル低下による自由に外出できない方の増加など，様々な交通問題を抱えている。本テーマでは，交通工学とデータサイエンスの融合により地域の交通問題をあぶり出すとともに，自動運転，シェアリング等の普及を念頭に置いた持続可能な交通サービスの導入により，我々の暮らしや都市の将来像がどう変化するか明らかにできると期待される。



取組例1：ライドシェアサービス導入効果の評価



取組例2：ICカードデータを用いたCOVID-19の影響分析



取組例3：逆解析手法によるバスレーン規制が一般車両に及ぼす影響分析

